

# 月刊サカタニ友の会ニュース

## 沖縄返還40年後

### MP今も活躍！



そのころまではMPは、警察や裁判所より強大な権力を持っていた。今、日本に住む人々は、MPと聞いても何とも感

敗戦後、米軍に占領されていた沖縄返還40年。その前日5月14日沖縄関連のニュースを見てみると、突然、MPの字が画面に大きく写しだされ、ギョッとした。今や日本本土では姿を見ないが、MPとは(ミリタリーポリス=米軍憲兵)のことである。沖縄では、犯罪行為をした米兵を警官より早くきたMPが基地内に連れ込むと言つ。基地内では日本の警官が手を出せないからと説明があった。敗戦時、少年だった私はMPという言葉で占領時代の日本を思い出した。戦時中サーベルを腰にした超怖い存在だった警官は棍棒を腰にし民主的に、代わりにピストルを腰にしたMPが怖い「尊大」になった。終戦でなく敗戦だから占領軍は最高の権力者で当然の結果、原爆や東京・大阪の空襲の非人道的な行為を非難や抗議運動なども10年後になつてヤツト広がりました。

明治以後は、少し貧しかったと聞くが平和で自然に満ちあふれた日本の島々。そしてそこに住んでいた同胞は穏やかに生きてきたが、先の戦争で戦場になり、多数の市民が犠牲になった。沖縄戦が終つた後でも、平穏な生活を脅かす日々の騒音や頻発する米兵の事件・事故に苦しんでいる。あの戦時は日本本土が負つ犠牲を代わつて受けてくれた県。そこがまたMPと基地で占領下日本の状況のようだ。何とかして上げたい。否、しなければいけない。日本人として、江戸幕府の日米和親条約は45年後通商条約改定され、沖縄は67年耐えているのだ。

発行(株)サカタニ  
集西楽・サカタニ  
ファミリーマート  
サカタニ京阪七条店  
〒605-0993 京  
東山区七条こころ坂下  
・075-561-7974  
URL [www.sosake.jp/](http://www.sosake.jp/)  
E-mail [info@sosake.jp](mailto:info@sosake.jp)  
編集 酒谷義郎  
[yosirou@sosake.jp](mailto:yosirou@sosake.jp)

## 清酒16年ぶりに増加

### 日本酒造組合

日本酒造組合のまとめによると、前年度対比101.2%。16年ぶりに前年度より増えたという。これについて組合は、昨年の東日本大震災で東北、関東13蔵から「百薬の長」と言われていた元が被害を被つた支援でその地方の日本酒良く売れ、日本酒の良さが見直されたと云っている。わが社でも同じ様に、東北の銘柄が良く売れた。とは言え酒類全体に占める比率は、日本酒は低下傾向は続き、若者の飲酒率が減つている。

車社会になって「飲酒運転事故増えた」「過度の飲酒で依存症が増えた」「飲酒による病気が増えた」社会に戻す薬酒にしたいものだ。

とお酒の害が強調されている。過度のアルコール飲料の摂取は間違いなく「害」あるでしょう。益、役に立つことも多く、日本人は農耕民族、村が中心で助け合いながら稲作をしアルコール度数の低い酒をつくり飲み楽しんでたと言っている。わが社も同じ様に、東北の銘柄が良く売れた。とは言え酒類全体に占める比率は、日本酒は低下傾向は続き、若者の飲酒率が減つている。

### 定例・5/20・第3日曜

### 朝粥を食べる前、朝粥会は4度目の出場

### お話し「私の映画人生」

お馴染みの映画監督さんや俳優さんのサイン入りのブレザーをまとい、熱く映画を語ります。小津安二郎監督・黒沢明監督など、話題は尽きません。熱心な映画ファンも参加。皆さん聞き耳を立ててお話を聞きます。吉永小百合さんに対するご自分の想いなどを語られました。

## 第90回朝粥食べておしゃべり会 報告

お話し「私の映画人生」お馴染みの映画監督さんや俳優さんのサイン入りのブレザーをまとい、熱く映画を語ります。小津安二郎監督・黒沢明監督など、話題は尽きません。熱心な映画ファンも参加。皆さん聞き耳を立ててお話を聞きます。吉永小百合さんに対するご自分の想いなどを語られました。



朝粥会は定員40人超え臨時席も満杯。



今回のおかずも、近所無門社「浅川亭」さんのご協力、感謝します。

## 「とんつきー」

外相時代訪中した大平芳正氏が「茅台酒」でもてなされ感銘、首相になったとき茅台酒を公式行事に使った。

そのころから、日本酒を「国酒」と呼び方をするようになった。そのことで「酒文化研究所」がアンケート調査し発表した。「国酒」といってよひ方を知る人16%。男20%で女性の倍。年齢が高いほど多い。日本酒を国酒と呼ぶ賛否は、YES・男63%女73%皆さんの意見は如何かな?と知りたいと思つ。近頃は和食も洋食も根根がなくなり、これは何の料理か判断不能の食べ物も多い。近頃、外国で日本酒を造る醸造会社も増えている。逆輸入された中国産日本酒を「国酒」で酒は変奏話。今「SAKE」は世界語。ビール・ワイン。ウイスキーもは多くの国で造られ飲まれている。そこに日本発に酒(さけ)料理(和食)が仲間入りし大きく伸びればよい。最高級SAKEは日本の水・米・技術と日本人の感性がないと造れないが私の確信だ。そこに日本酒の未来があると思つ。そしてビール会社をまねてアルコール抜き日本酒を出さないでほしい。諺に曰く「悪賢は良賢を駆逐する」と心して欲しいものだ。



# 京都&東山 ぶらりピカリ

33

## 東山の二つの 師弟愛像

に「師弟愛」の像があります。

この二つは共に、昭和9年9月21日近畿地方を襲った「室戸台風」に関わりがあります。この台風は室戸岬上陸時の中心気圧は971.6ミリバール(現在も日本一低い)最大瞬間風速60米の猛烈なもので、大阪と神戸の間に午前8時再上陸し、京阪神をまともに襲ったのです。死傷者約15,000人、行方不明者約3,000人、京都では被害家屋47万戸・死者2,702人、不明334人、負傷者14,994人を数えました。今の様に刻々と台風情報が入らない時代、学校も平常の授業がなされていません。

の像は、前号の「戦友碑」斜め南にあります。その至言「台風で、右京区の淳和小(現在の西院小)



では児童三十二人、と松浦寿恵子先生が亡くなりました。松浦先生は怯える児童達七名に被さるよつに

抱え込み、自らは命を落とし、その崇高な精神をたたえ、市民有志が像を建てた像です。詩人吉井勇は「死線を越えた師弟純愛」と形容、台座に「かく大き、愛のすがたをいまだ見ずこの群像に涙



しながる」との歌を刻んでいます。は京都女子大学構内

## 市電が走った街 京都を巡る 福田静二



壬生車庫前  
千本三条  
二条駅前  
SENNBON SANJO

を終えた市電は、後院通を北西へ向かいます。前号でも書きました、京都では珍しい斜めの区間です。乗っていると、別段感じることはありませんが、地図で見ると、確かに他にはない区間であると感じます。車窓は、左手に小学校が望めるほか、小さな商店などが連続します。車窓から見ると、気が付くのは、白線で区切っただけの歩道しかないことです。当時、市電の走るメインの道路でも、このよ

うなところが多くありました。まもなく、到着するのが、千本三条です。ここで市電は緩くカーブして、千本通に入り、ほぼ北へ

にあり、同校出身の、横山仁和子先生(当時8歳)が、大阪・豊津尋常高等小学校で、倒壊寸前の校舎から子どもたちを避難させ、最後の児童が避難する直前、校舎は音をたてて崩れ落ち、横山先生は向かって走ることになります。電



庫群の奥深く入っていききました。さて、千本三条を歩く市電

みずき選手が、雨天の日、このアーケード街を練習場として利用していた話もあります。ちょうど、真ん中あたりに、老舗の模型店があり、小学校の頃、自転車で乗って、鉄道模型を買いに行ったことがありました。現在も街の中にあつて、まだまだ元氣な商店街のよう

おいかがぶるよつにして、三人の子どもを救い、無残にも、先生は亡くなられた姿を像にされたものです。今更ながらこの二つの話に、師弟の絆の尊さと強さを感じます。

瓦造りの食糧倉庫が並んでいました。その多くは、米を備蓄する倉庫だったよつです。近くの二条駅に到着した貨物列車から切り離さ

の市電を守ろう」と運動が沸き起こります。多くの市民が賛同し、全市的な運動へと広がりを見せます。三線の廃止は、ちょうど運動の絶頂期に当たり、廃止申請を審査する監督官庁も、その世論を無視することもできず、認可が先送りされ、ついには年越ししてしま

もともと、京都市としては、昭和四十六年九月の廃止を目論んで、廃止申請を提出していましたが、その数年前から、「京都最終日の「さよなら電車」を千本三条で写すことができた。



# 酒屋で生きて 生かされて



## 第七十話 小耳にはさんで 得たチャンス

野球で  
はラッ  
キーフ  
という言葉があります。今回のこの欄は70話、ラッキー7の七倍でチャンスを得たことを書きま  
す。実際はチャンス逃した方が  
多いのですが・・・

この欄 第18・19話「神風が吹く」と題して1973年(昭48)の「石油ショック」を前もって小耳にし、その対応で営業基盤が固められたことを書いています。その十数年後、ビルに建てコンビニを開業しましたが、これも【小耳にはさんだ話】の結果です。

経営は順調に拡大し、現在地で一軒は酒屋ワインブラス(株)カタニ棟続き一軒は立飲み酒場を改造し「東山のめ坊」との屋号で讃岐うどん店(酒免許の關係で家主が店主)を始めました。家主の父に、会社・私・家内と



三口にして世間相場よりヤヤ安いが家賃を払ってました。店は繁盛しましたが、間口が狭く

奥行きが長い古い京町屋二階が住居で一階は店と倉庫で使い勝手が悪く、東側裏の家に奥の土地が活かせると思っていました。

一階の風呂場から、そのお家が見えます。入浴の度に、窓を開き「あのお家が手に入りますように」と念じ続けていました。ある日、学校から帰ってきた下の娘が夕食

時「今日、Kさん(裏の家の住み)から感想メールを頂戴しました。滅多にないことであわわしくて掲載しました。」「ひとりごと」では、おぼ

## とんからりん 152号の感想

長年サカ  
タニ友の会  
会員で下さ  
る 梶 宏様

あ様の「始末しい」「ぶりに共感をもちました。特別に教えられたわけでもありませんが、今なおタオルでも、最後に雑巾としてボロボロになるまで捨てることができな

ない小生です。なお、「セコハン」については、「買い物ブギ」ではなく、同じ笠置シズ子の持ち歌ですが、「セコハン娘」というのがあります。この歌をナマで聴いたのが、先斗町歌舞練場で、歌ったのが何と、その頃は進駐軍相手にジャズを歌っていた森光子でした。森といえは当時はまだ森赫子という女優のほつがメジャーで



524 川上、平山、千葉、青田、山川

一方が学校に來やはつて、転校すると言つたはつた」と言つた。「何時に?」「それは知らん」です。翌朝、Kさん宅へ伺い、転居されると判り、お家を譲つて戴く話が出来、ローンを組んで購入しました。娘は、日ごろ私達夫婦がKさんお家のこと話すのを小耳に入られていて、Kさんの転居を知らせたのでしよう。後、Kさん宅と棟続きのお家も購入出来ました。一念と小耳でチャンスが来ました。

「ひとりごと」では、おぼあ様の「始末しい」「ぶりに共感をもちました。特別に教えられたわけでもありませんが、今なおタオルでも、最後に雑巾としてボロボロになるまで捨てることができな

い小生です。なお、「セコハン」については、「買い物ブギ」ではなく、同じ笠置シズ子の持ち歌ですが、「セコハン娘」というのがあります。この歌をナマで聴いたのが、先斗町歌舞練場で、歌ったのが何と、その頃は進駐軍相手にジャズを歌っていた森光子でした。森といえは当時はまだ森赫子という女優のほつがメジャーで

## お知らせ

四回まで八回連載で文筆家・井上茂樹様の「ご投稿で掲載の「シゲさんの疑問」は、作者様のご都合で中断することになりました。読者の皆さんの評判が高

## 「戦友」の像の補足

戦友は「軍歌」であり、石像も敗戦後、米占領軍の命令で他の「軍国主義関係の像」同様に撤去を命じられました。それに対して良止院の当時住職の故細井照道さんが「この歌の真意は戦争の悲しみを伝えるものだ」と強く主張し弁護のお陰で撤去を免れたのです。

## 編集後記

「とんからりん」153号になりました。編集者の独断と偏見が多くて、お読み下さる方が少なく出しているだけ状態でした。今回は、梶宏様が感想をお寄せ下さり飛び上がる程嬉しく文面から巨人ファンと察し思いネットで調べ写真を貼り付けました。

「馬町爆撃を忘れない」に関わっています。当時の「トドトドトド」爆撃員は今も耳が覚えてます。軍隊も工場もない静かに眠る馬町付近が爆撃されたのです。広島長崎の原爆投下も、本来許される行為で有りません。敗戦症候群と占領軍の力に右翼も左翼も政府も、抗議もしなかつた(出来なかつた)ヤマト原水爆禁止大会が開かれたのは1955年。平和な時で罰せられる行為でも戦争では罪にならない。チャップリンが94年殺人狂時代でそれを表現していました。

日本軍の残虐行為は非難さるるが、ネットで調べると米軍の残虐行為がワンサ。勝てば官軍の諺はアメリカでも有るのか?